

1. 水源地域ビジョンについて

1-1 水源地域ビジョンとは

我が国の国土面積の約2割を占めるダムの集水区域、いわゆる水源地域は、これまで流域の水源として治水、利水、環境面において国土の発展を支えてきました。

しかし、現在、水源地域の多くは、山地や中山間地という立地条件や急速な少子高齢化の進展に伴い、後継者不足及び農林業の低迷などの多くの課題を抱え、地域存続の危機に直面している状況にあります。また、これに伴い、森林の管理不足・荒廃による水源涵養機能をはじめとする水源地域の公益的機能の低下が懸念される状況にあり、水源地域だけではなく流域圏として大きな課題となっています。

さらに、自然に恵まれている水源地域は、地球温暖化をはじめとする自然環境保全の上からも重要な役割を担っており、近年の国民の環境保全への関心の高まりもあいまって、水源地域が有する自然環境を積極的に保全していくことが望まれています。

今後、21世紀のダム事業・ダム管理においては、水源地域と中・下流受益地の住民及び組織の自主的な参加を通じた「流域共同体意識（パートナーシップ）」の下、従来、ダムに求められていた治水や利水といった機能に加え、水源地域活性化の核として、ダム及びダム周辺の自然及び水源地域の伝統的な文化活動等を利用した水源地域の自立的・持続的な活性化を図るためのハード、ソフト面の総合的な整備が期待されています。

このため、ダムの貯水池のみではなく水源地域全体を視野に入れ、水源地域、中流受益地、下流受益地の流域連携によって、流域圏の共有資産である水源地域の自立的・持続的な活性化や、水源地域が有する公益的機能を確保し、バランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的とした「水源地域ビジョン」を策定することとしました。

「水源地域ビジョン」はダム水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定主体となり、下流の自治体住民や関係行政機関に参加を呼びかけながら連携関係を構築し、それぞれが役割分担の下で、水源地域の保全と活性化のために協力していくための行動計画です。

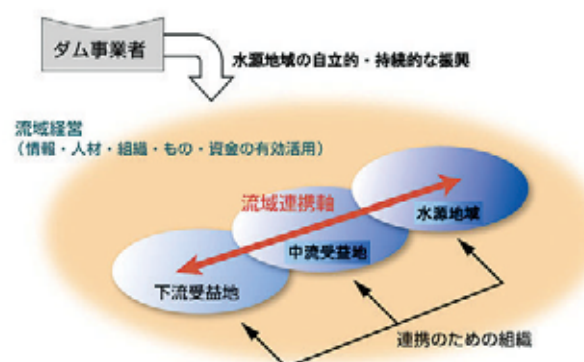


図-1.1 流域経営の概念図

1-2 土師ダム水源地域におけるビジョンの策定背景

水源地域の役割

昭和49年に広島・島根両県にまたがり中国地方最大の流域を有する江の川上流に建設された土師ダムは、江の川の洪水調節とかんがい用水の補給とともに、太田川への流域変更により、広島市をはじめとする5市5町（平成17年4月1日現在）へ都市用水の供給を行うという全国的にも広域かつ多目的な特徴的機能を有しており、広島県の生活・経済基盤を支える重要な役割を担っています。

また、その都市用水となる水源の涵養や、土師ダムの機能維持の役割を担うのが、土師ダムが位置する安芸高田市や、その上流に位置する北広島町（旧大朝町、旧千代田町）のいわゆる「水源地域^(※)」です。

総面積の約8割を森林が占める本水源地域は、流域住民が生活していく上で必要な水源を涵養する機能だけではなく、土砂流出の抑制や多くの野生生物の生息場など多様な公益的機能を有しています。

水源地域の現状

このような水源地域の公益的機能を維持していくためには、水源地域の持続的な活性化が必要不可欠です。

本水源地域においても、安芸高田市の土師ダムを活用した各種イベントを通じた地域振興や、北広島町の旧大朝町における町内の恵まれた森や水の環境保全をはじめとする環境にやさしいまちづくり、旧千代田町における農業を活かした都市住民との交流など、豊かな自然資源や、歴史・風土、農業を中心とする地場産業を活かした特色ある地域づくりに取り組んできました。

また、土師ダム周辺においても、ダム湖活用環境整備事業（レクリエーション事業）をはじめとして、八千代湖を包む6,000本の桜をはじめ、サイクリングロードや水上スポーツなど多様な魅力あるレクリエーション施設が整備されており、広島市から約30kmという位置的利便性も相まって年間約30万人を超す利用者が賑わっています。

しかし、近年の中山間地域でより顕著な少子化等に伴う人口の減少や高齢化による担い手不足、社会的ニーズの変化など社会をとりまく動向の変化にともない、本水源地域の地場産業である農林業や観光をはじめとして地域活力に低迷が見られる状況にあるとともに、土師ダム周辺においても年間を通じたダム湖の利用方策や増大する維持管理の方策に課題を有する状況にあります。

また、水源地域から都市用水の供給を受ける広島市をはじめとする下流地域（受益地）においては、水源地域の役割や機能、さらには恩恵に対する認識は必ずしも高いとは言えない状況にあります。



のどごえ公園（土師ダム）



千代田町コミュニティ農園



天意の里ハーブガーデン（旧大朝町）

※本ビジョンにおける「水源地域」は、安芸高田市、北広島町（旧大朝町、旧千代田町）の1市1町と定義します。

水源地域ビジョンの策定

水源地域の持続的・自立的な発展は、水源涵養（水資源貯留、洪水緩和、水質保全など）、流域の生態系保全、環境保全に配慮した水循環の維持、ダム機能の維持などの面において、水源地域のみならず、その恩恵を享受する下流域にとっても将来にわたり重要なものとなります。

しかし、水源地域が抱える様々な課題とその解決にあたり、水源地域のみで永続的に担っていくことは困難であり、その恩恵を享受する下流域との連携を図り、流域全体が協働で担っていくことが求められます。

「土師ダム水源地域ビジョン」の策定にあたっては、水源地域の現状及び将来的な問題・課題点を明らかにし、ダム湖周辺を含めた水源地域の魅力をさらに向上させながら、下流域との相互関係の中で水源地域の自立的・持続的な活性化の方途を明らかにし、水源地域及び下流域（受益地）の自治体や関係行政機関、流域住民や活動団体などの主体的な参加と連携の基礎づくりを行いながら、実効性のある行動計画を策定するものです。



図-1.2 土師ダム水源地域ビジョン対象地域図